

○ 日本側所蔵記録

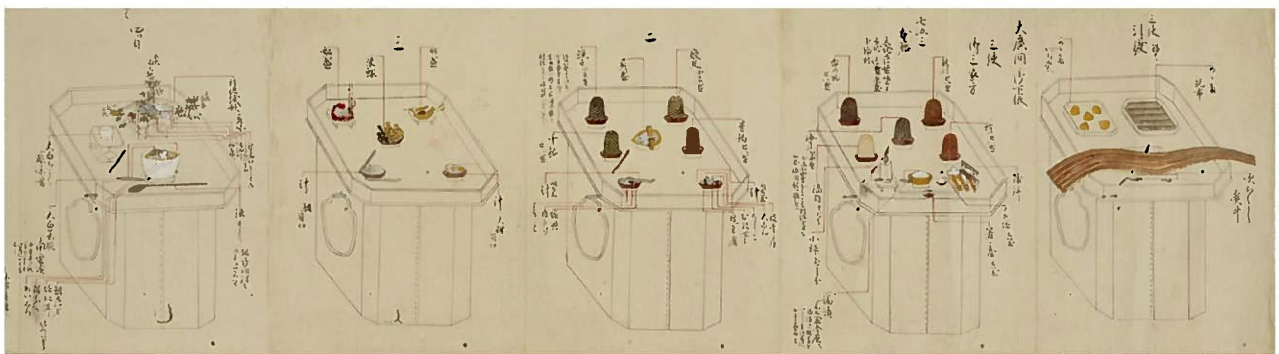
資料番号	J. II-19	資料名	朝鮮人物旗杖轎輿之図
------	----------	-----	------------



紙本彩色（縦×横）35.2×625.9cm

1811年に来日した第12次通信使の衣装・旗・輿などを詳細に描き、詳しい解説を加えたもの。最後の通信使となったこの回は、江戸には行かず対馬までしか訪れなかった。日本側の正使を務めた小倉藩主・小笠原忠固が家臣の猪飼正華に命じて記録画として製作され、幕府に報告されたものと考えられる。本資料は、徳川御三家のうち、尾張徳川家に伝来したと伝える。

資料番号	J. II-20	資料名	七五三盛付繰出順之絵図
------	----------	-----	-------------



(図版は部分)

卷子装 紙本署色 〔縦×横〕26.9×937.1cm

1763～64年の朝鮮通信使が国書交換のため江戸城に登城した際、徳川將軍家からふるまわれた饗応料理を描いたもの。当時の日本で最高の格式を誇った七五三料理(一つの膳にそれぞれ七品、五品、三品のごちそうが盛られる。)である。このほかにも数多くの菓子や酒が提供された。

本図は、提供された料理が順番に描かれ、食材や食器、飾り物なども事細かに記載されており、国賓として処遇された朝鮮通信使への具体的なもてなしの様子がわかる。